

☆ 道の駅 **ビオスおおがた** 行って来たよ!!



♪ こちらは情報館です

♪ 物産館「ひなたや」さん。お土産、産直市、お食事どうぞ!!

10月20日(火)、風良里本館定休日を利用して幡多郡黒潮(旧大方)町にある道の駅『ビオスおおがた』に視察研修に行って来ました。同駅は白砂青松、遠浅の海水浴場で有名な入野松原の東端土佐西南大規模公園内にある道の駅。海まで間近のとってもオープンな雰囲気の中の駅です。

当日は下村取締役様はじめ従業員の皆さん、Tシャツアート展などで知られるNPO 砂浜美術館の事務局の方から、同駅のいろいろな取り組みについて学ぶことができました。昼食も同駅でとりましたが、かまど炊きのご飯やお魚系、四万十のうなぎ等々大変美味しく、全員大満足でした。



♪ みんなで記念撮影。



その後、四万十市にこの夏オープンしたばかりの商業施設サンリバー四万十物産館を見学、すごい規模に驚きつつも興味深いひと時を過ごしました。同施設、観光案内所(左画像)もあるので幡多の観光はここにお任せ! という感じです。

♪ 道の駅『ビオスおおがた』の皆さん、
ありがとうございました。

猫のしっぽ 驚きました。先日視察研修で訪れた(本文記事)四万十(旧中村)市のサンリバー四万十で、「はたも〜ら」という冊子をいただき、帰ってぱらぱら見てると、安倍夜郎(あべやろう)さんのエッセイが。同氏はビッグコミックオリジナルに「深夜食堂」という作品を連載中の漫画家。どうして? と思って読むと彼は中村出身。昔の中村の風情が挿絵とともに載っています。私風猫子も中村に小学3年まで居たので、内容が見てきたようにわかる。文面から私より4~5歳位下と思われるけれど、「ガメラ対ギャオス」を「太陽館」で見たとか、天神橋商店街の盛衰など懐かしく共感できることばかり。「てん」の幡多郡初のエスカレーターの話と自分の体験一大橋通に市内初の「信号!!」ができ自転車で見に行ったこととかーが妙にオーバーラップして、あの頃の中村の街に戻ったような慕わしさを感じました。昔の友達や自分との再会とも言えるような、うれしい驚きでした。風猫子